

尼崎市立中央図書館

としょかんNOW

図書館だより

中央図書館だより No.389
令和5(2023)年11月1日発行
尼崎市立中央図書館
〒660-0826 尼崎市北城内 27 番地
TEL (06)6481-5244
FAX (06)6481-2142



図書館ホームページアドレス

<https://www.amagasaki-library.jp>

※お使いの機種によっては、読み取らないこともあります。
※ご利用のポケット通信料は利用者のご負担となります。

尼崎と作家たち 第45回

岩松 了 (いわまつ・りょう)

劇作家・演出家・俳優



1952(昭和27)年、長崎県生まれ。東京外国語大学ロシア語学科中退。自由劇場を経て東京乾電池で活動。1980年代半ばから本格的に劇作を始め、1989年に『蒲団と達磨』で第33回岸田國士戯曲賞受賞。1993年『こわれゆく男』『鳩を飼う姉妹』で第28回紀伊國屋演劇個人賞、1998年『テレビ・デイズ』で第49回読売文学賞、2018年『薄い桃色のかたまり』で第21回鶴屋南北戯曲賞を受賞。2007年から尼崎市主催「近松門左衛門賞」の選考委員に、2009年からは兵庫県立ピッコロ劇団代表を務める。これらの功績により、2018年兵庫県文化賞を受賞。

作品紹介



「五番寺の滝」岩松 了 / 著 ベネッセコーポレーション 1998年発行

私は、何故あの男を殺さなければならなかったのか？そのことをいくら自問しても核心にたどりつかない。「殺人の原因は自分の中にある」その言葉が私を追ってくる。断じて私に原因はない。たんに携帯電話の音が大きすぎたからあの男は殺されたのだ。劇作家が現代の狂気を描く、初めての小説。

図書館・図書室の特別整理を実施します

該当日は休館・休室となり、貸出・返却・予約・取置・移送等の業務は行えません。ご不便をおかけしますが、ご了承ください。

【中央図書館】

12月4日(月)～14日(木)

※この期間は返却ポストもご利用いただけません。
※休館期間前は貸出期間を延長し、貸出冊数を100冊に変更します。

【園田西生涯学習プラザ休館のお知らせ】

空調機入替工事のため、園田西生涯学習プラザは11月22日(水)～12月28日(木)まで休館となります。(1月4日(木)より再開します。)

【特別整理による休館・休室】

月日	施設名
11月14日(火)	立花北生涯学習プラザ
11月15日(水)	大庄南生涯学習プラザ
11月16日(木)	ユース交流センター
11月17日(金)	中央南生涯学習プラザ 中央北生涯学習プラザ
11月21日(火)	小田北生涯学習プラザ
11月22日(水)	武庫東生涯学習プラザ
11月27日(月)～12月1日(金)	北図書館

あきのとしょかんおやこまつり

親子で楽しめるおはなし会や工作教室を、図書館で活動しているボランティアグループが合同で開催します。

【日時】11月18日(土)14:10～15:40

【場所】中央図書館

【申込】不要



中央図書館100周年記念事業

みんなのおすすめ本

教珠つなぎ

第37回

尼崎市ゆかりの方々に、愛読書・おすすめしたい本を紹介いただき、読書の輪を広げるリレー企画です。川岸邦充さん(難波小学校地域学校協働活動推進委員)から推薦された次の方は…

おたがきのぶよ

太田垣 亘世 さん

(尼崎えびす神社宮司・尼崎市教育委員)

『田坂広志 人類の未来を語る』

未来を予見する「12の洞察」

田坂 広志/著 (光文社 2023年刊)



不連続で加速度的な時代の未来は予測不可能だけど、大局的な予見の上で、経済、AI、資本主義、パンデミック、宗教などを切り口に、私たちが今後どうあるべきかというヒントが書かれています。特に、古き時代のものが新たな価値とともに復活する「螺旋的発展」、そして、対立するものが、競い合うことから、取り入れ合うプロセスを意味する「アウフヘーベン」というキーワードが示す、未来への対応策は、私たちの心に大きな希望と活力を与えてくれます。

今回は、落語家・天台宗道心寺住職の露の団姫(つゆのまるこ)さんです。お楽しみに!

レファレンス室から

～新刊紹介～

『甲辞園 第三版』
(ベースボール・マガジン社)
2023年8月発刊

2024年に開場100年を迎える甲子園。インターネットにも載っていないような900以上の高校野球や球場のトリビアを楽しむ甲子園大辞典です。春・夏の甲子園の第1回大会からのトーナメント結果も記載。マニアから新規ファンまで満足できる、令和の甲子園を深く知るための一冊です。

この資料は、3階レファレンス室で
ご覧ください。貸出はできません。

3階レファレンス室では調べもののお手伝いをします。遠慮なくお声がけください。

こんな質問がありました！

船のプロペラについて
書かれている本を借りたい。



「船×プロペラ」などのキーワードで所蔵検索をおこないましたが、該当資料がヒットしません。一般書架の分類番号**550番台(船舶工学)**の棚で、**目次・索引**に「プロペラ」の項目がある本を探したところ、『よくわかる最新船舶の基本と仕組み』(秀和システム)、『トコトやさしい船舶工学の本』(日刊工業新聞社)、『図解 船の科学』(講談社)などにプロペラについての記述があるページが見つかりました。書庫所在の『船と海のQ&A』(成山堂書店)も併せ、貸出の手続きをおこないました。

近松三百年祭記念
三二展示

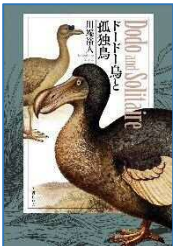
公演ポスターにみる 近松作品の世界

近松門左衛門は、尼崎にゆかりの深い江戸時代の劇作家です。今年、生誕三百七十年かつ三百年忌となる近松にちなみ、浄瑠璃・文楽などの公演にまつわる明治・大正期から昭和・平成にかけての貴重な芝居番付・ポスター・プログラムなどの資料を展示します。また、「近松門左衛門」や「浄瑠璃・文楽」についての貸出できる本も集めました。ぜひご覧ください。

期間：12月27日(水)まで 場所：2階 エントランス

こんな本 入りました

『ドーデー鳥と孤独鳥
—Dodo and Solitaire』
川端 裕人/著 (国書刊行会)



小学生以来、絶滅動物を偏愛する科学記者タマキとゲノム研究者ケイナ。二人は二十年ぶりに再会し、江戸時代に日本に来た「ドーデー鳥」の謎と行方を追う旅へ出た。『ドーデーをめぐる堂々めぐり』の著者による堂々のドーデー小説！

～ 一般室の本棚から ～

『焼き芋とドーナツ 日米シスターフード交流秘史』
湯澤 規子/著 (KADOKAWA)



焼き芋とドーナツは、日米の女性労働者たちの日常を象徴する食べ物だった。間食(おやつ)を楽しむのは自分の力で生きていることを実感できること。日米の女性たちの学びへの欲求や行動が魅力的に描かれ、日米の女性たちの日常が海を越えて響き合う。

11月の図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

開館時間 **9:00~20:00**

※ □印は休館日です。

※ ○囲み(日・祝)の開館時間は17:15まで。

朗読の会 おはなし玉手箱

対面朗読ボランティア 花みずき

日時 11月14日(火) 午後2時~3時
(毎月第2火曜日)

場所 1階セミナー室

読み物 「母ちゃんのお母ちゃん」 沢田 俊子/作
(『心にひびくお話高学年ー10分で読める』より)
ほか

※次回は3月12日(火)です。

◆おはなしの会

14:10~14:25 子ども(0~3歳くらい)と保護者

14:30~14:50 4歳くらい~小学生と保護者

14:55~15:15 小学生

●コアラくらぶ

11:00~11:30 0~3歳と保護者

詳細はホームページまたは子ども向け図書館日より
「本と友だち」をご覧ください



ビブリオバトル尼崎 秋の陣

【日時】11月11日(土) 11:00~12:00

【場所】尼崎城址公園 芝生広場

(雨天・強風時は中央図書館内)

【テーマ】きく

発表希望者は電話または直接、中央図書館まで。

(TEL: 06-6481-5244)

観覧は申し込み不要です。お気軽にどうぞ!

尼崎市立中央図書館が特別賞に選ばれました!

ビブリオバトル普及委員会主催の「Bibliobattle of the Year 2023」の特別賞を受賞しました。尼崎城隣接の立地を活かし、参加者を楽しませながら地域を盛り上げた活動が評価されました。



担当者のつぶやき

早いもので、今年も残すところ2か月を切りました。特に動物好き、ということでもありませんが、毎年カレンダーはもふもふ系の動物の物を選んでいきます。柴犬、シマエナガ、のら猫と続いているので、来年は何にしようかと考え中です。(M.Y)



12月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						